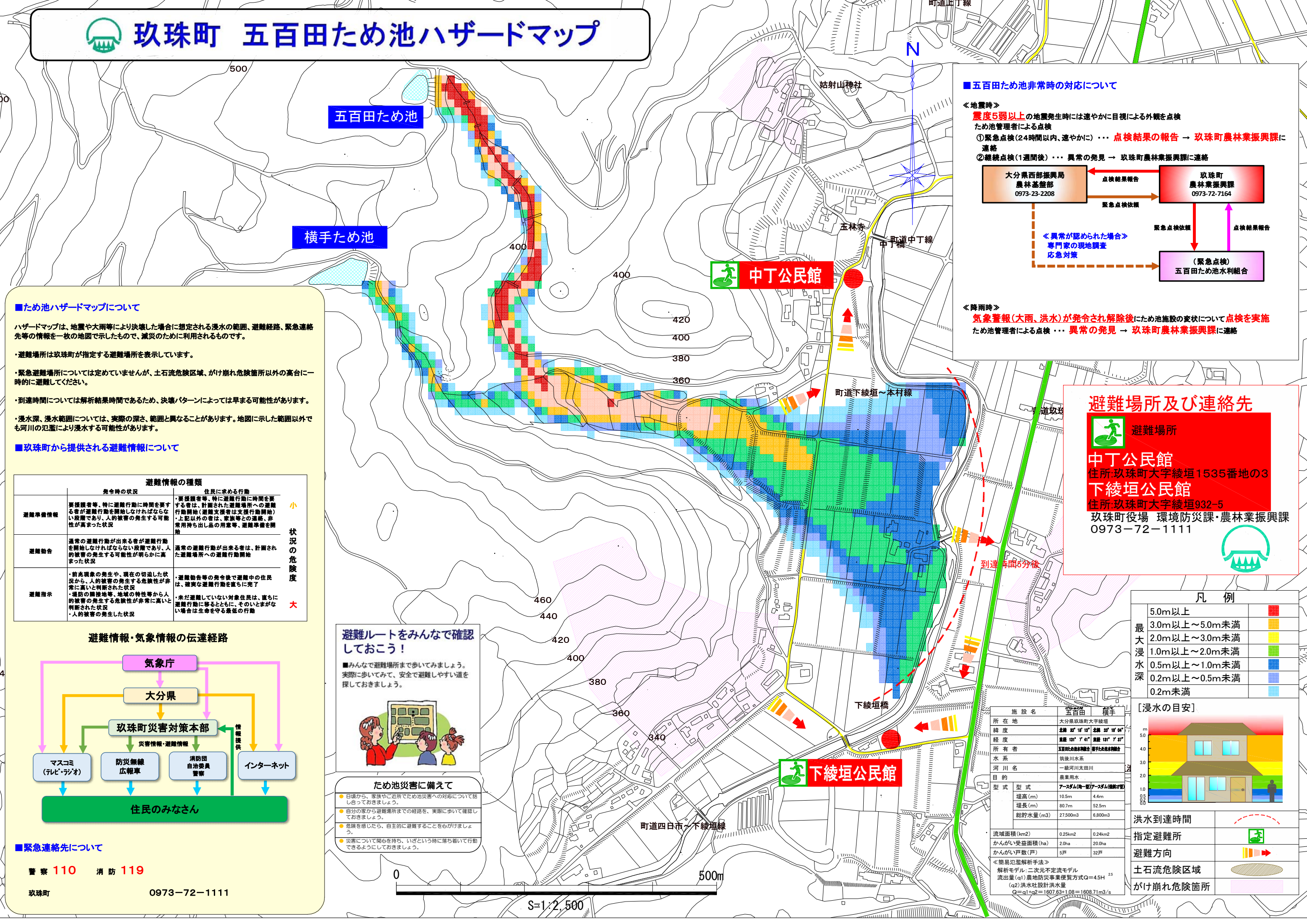




玖珠町 五百田ため池ハザードマップ



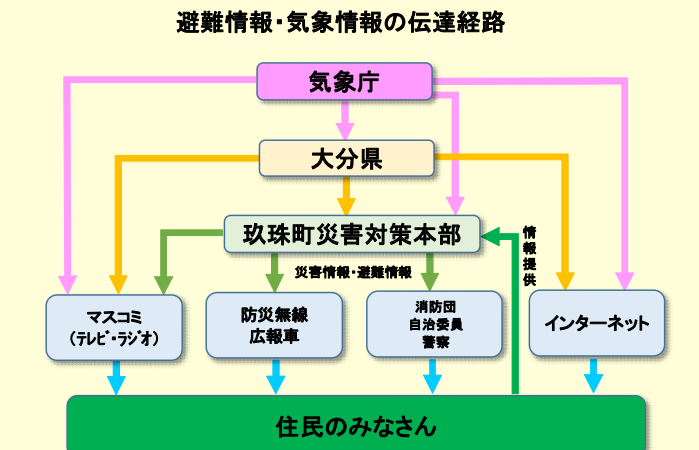
■ため池ハザードマップについて

ハザードマップは、地震や大雨等により決壊した場合に想定される浸水の範囲、避難経路、緊急連絡先等の情報を一枚の地図で示したもので、減災のために利用されるものです。

- ・避難場所は玖珠町が指定する避難場所を表示しています。
- ・緊急避難場所については定めていませんが、土石流危険区域、がけ崩れ危険箇所以外の高台に一時的に避難してください。
- ・到達時間については解析結果時間であるため、決壊パターンによっては早まる可能性があります。
- ・浸水深、浸水範囲については、実際の深さ、範囲と異なることがあります。地図に示した範囲以外でも河川の氾濫により浸水する可能性があります。

■玖珠町から提供される避難情報について

避難情報の種類		住民に求める行動
避難準備情報	発令時の状況 要援護者等、特に避難行動に時間を要する者が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況	要援護者等、特に避難行動に時間を要する者は、計画された避難場所への避難行動開始(避難支援者は支援行動開始)・上記以外の者は、家族等との連絡、非常用持ち出し品の用意等、避難準備を開始
避難勧告	通常の避難行動が出来る者が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況	通常の避難行動が出来る者は、計画された避難場所への避難行動開始
避難指示	・前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 ・堤防の崩壊地等、地域の特性等から人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 ・人的被害の発生した状況	・避難勧告等の発令後で避難中の住民は、確実な避難行動を直ちに完了 ・未だ避難していない対象住民は、直ちに避難行動に移るとともに、そのいとまがない場合は生命を守る最低の行動



■緊急連絡先について

警察 110 消防 119
玖珠町 0973-72-1111

避難ルートをみんなで確認しておこう！
■みんなで避難場所まで歩いてみましょう。実際に歩いてみて、安全で避難しやすい道を探しておきましょう。



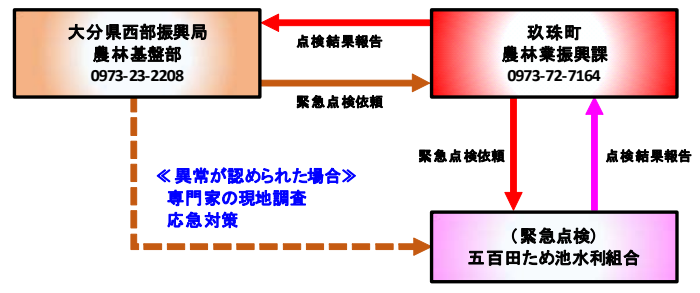
ため池災害に備えて

- 日頃から、家族やご近所のため池災害への対応について話し合っておきましょう。
- 自分の家から避難場所までの経路を、実際に歩いて確認しておきましょう。
- 危険を感じたら、自主的に避難することを心がけましょう。
- 災害について関心を持ち、いざという時に落ち着いて行動できるようにしておきましょう。

■五百田ため池非常時の対応について

＜地震時＞
震度5弱以上の地震発生時には速やかに目視による外観を点検
ため池管理者による点検

- ①緊急点検(24時間以内、速やかに)・・・点検結果の報告 → 玖珠町農林業振興課に連絡
- ②継続点検(1週間後)・・・異常の発見 → 玖珠町農林業振興課に連絡



＜降雨時＞
気象警報(大雨、洪水)が発令され解除後ため池施設の変状について点検を実施
ため池管理者による点検・・・異常の発見 → 玖珠町農林業振興課に連絡

避難場所及び連絡先

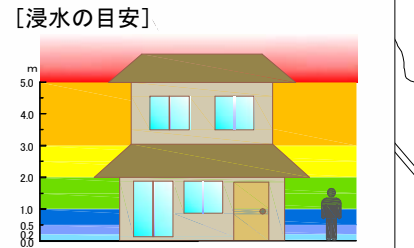
避難場所
中丁公民館
住所:玖珠町大字綾垣1535番地の3
下綾垣公民館
住所:玖珠町大字綾垣932-5
玖珠町役場 環境防災課・農林業振興課
0973-72-1111

凡例

5.0m以上	■
3.0m以上～5.0m未満	■
2.0m以上～3.0m未満	■
1.0m以上～2.0m未満	■
0.5m以上～1.0m未満	■
0.2m以上～0.5m未満	■
0.2m未満	■

施設名	五百田	横羊
所在地	大分県玖珠町大字綾垣	
緯度	北緯 33° 18' 13"	北緯 33° 18' 04"
経度	東経 133° 7' 41"	東経 133° 7' 37"
所有者	五百田ため池水利組合	横羊ため池水利組合
水系	筑後川水系	
河川名	一級河川太田川	
目的	農業用水	
型式	アースダム(均一型)アースダム(傾斜型)	
堤高(m)	10.5m	4.4m
堤長(m)	80.7m	52.5m
総貯水量(m ³)	27,500m ³	6,800m ³
流域面積(km ²)	0.25km ²	0.24km ²
かんがい受益面積(ha)	2.0ha	20.0ha
かんがい戸数(戸)	5戸	32戸

＜簡易汎用解析手法＞
解析モデル:二次元不定流モデル
流出量(q1)農地防災事業便覧方式Q=4.5H^{2.5}
(q2)洪水吐設計洪水量
Q=q1+q2=1607.63+1.08=1608.71m³/s



洪水到達時間	→
指定避難所	■
避難方向	→
土石流危険区域	■
がけ崩れ危険箇所	■